

2025/3/10

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(3月3日~3月7日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,461.0	1,462.3	1,437.8	1,446.8	▲16.6
JPY/KRW	9.7847	9.8125	9.6501	9.8028	+0.051
KOSPI	2,522.20	2,583.65	2,513.31	2,563.48	+30.70

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初のドル/ウォンは1,461.0ウォンでオープン。米国による関税引き上げに対する懸念が重しとなりウォン相場は軟調に推移。月初に発表された韓2月貿易黒字が予想比下振れたこともウォン売り材料となった。5日にはトランプ米大統領の施政方針演説を控えた警戒感からウォン安地合いで推移。「韓国の平均関税は米国の4倍」と発言すると再度ウォンが売られる場面が見られた。しかし、特段大きなサプライズは見られず、過度な警戒感が後退したことで、1,450ウォン台半ばまで戻す動きとなった。6日にかけては米国のメキシコ・カナダへの関税の大部分が適用延期となったことで警戒感が一段と後退。一時1,440ウォンの節目を下抜ける場面も。週末は若干反発し、前週末比▲16.6ウォンの1,446.8ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

先週はトランプ米大統領発言・関税政策を巡るヘッドラインに上下する展開。関税に焦点が当たる中で、4月に導入される予定の相互関税を巡る報道などにも注意したい。週初は重要経済指標の発表は無いものの、週中に米CPIやPPIを控え、米インフレ動向と金融政策の見通しの変化についても注意したい。ドル/ウォンは若干材料不足ながらも、関税への懸念から下値は限定的な推移が継続するものと予想する。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1430 ~ 1460	9.60 ~ 9.90	147.0 ~ 150.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 10日(月) 日 1月 国際収支
- 11日(火) 日 4Q GDP 確報値
- 12日(水) 韓 2月 失業率
米 2月 CPI
- 13日(木) 米 3月 失業保険新規申請者数
米 2月 PPI
- 14日(金) 米 3月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。